



福岡医発第 1585 号 (地)

平成 25 年 9 月 27 日

各 医 師 会 長 殿

福岡県医師会

会長 松 田 峻一良

(公印省略)

平成 25 年度厚生労働省委託事業 緩和ケア普及啓発事業
緩和ケア普及啓発シンポジウム『がんと診断された時からの緩和ケア』
～がん治療医が今日からできる診断時からの緩和ケア～
の開催について (ご案内)

今般、標記シンポジウムを別紙リーフレットのとおりに開催する旨、特定非営利活動法人日本緩和医療学会より通知がありましたのでご連絡申し上げます。

本シンポジウムでは、「診断時からの緩和ケア」の画期的普及を目指して、正しい理解の促進を図ると同時に、診断時からがん治療医が提供できる緩和ケアを具体的に実践的な 5 つのアクションプランとして打ち出し、全国規模での導入を加速することを計画されております。

つきましては、貴会会員への周知方よろしくお願い申し上げます。

なお、本シンポジウムの詳細につきましては、インターネットでも確認することが可能となっております (<http://www.kanwacare.net/sympo/25/>)。

記

と き 平成 25 年 10 月 6 日 (日) 13:00～17:00

と ころ 聖路加看護大学 (東京・築地)

アリス C. セントジョンメモリアルホール 1 F

定 員 300 名 (申し込み先着順)

参 加 費 無料

問合せ先 日本緩和医療学会事務局

TEL: 06-6479-1031 E-mail: itaku@jspm.ne.jp

平成25年9月13日

関係者各位

特定非営利活動法人 日本緩和医療学会
理事長 細川 豊史

平成25年度厚生労働省委託事業 緩和ケア普及啓発事業
緩和ケア普及啓発シンポジウム『がんと診断された時からの緩和ケア』
～がん治療医が今日からできる診断時からの緩和ケア～
に対する広報等協力依頼

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は、当学会事業にご支援・ご協力を賜わり、厚く御礼申し上げます。

当学会では、平成25年10月6日(日)に緩和ケア普及啓発シンポジウム『がんと診断された時からの緩和ケア』～がん治療医が今日からできる診断時からの緩和ケア～と題したシンポジウムを別紙リーフレットのとおりに開催致します。

本シンポジウムでは、「診断時からの緩和ケア」の画期的普及を目指して、正しい理解の促進を図ると同時に、診断時からがん治療医が提供できる緩和ケアを具体的に実践的な5つのアクションプランとして打ち出し、全国規模での導入を加速することを計画しております。

つきましては、今回の主旨へのご賛同を賜りたく、ぜひがん治療医の先生方をお誘い合わせの上、ご参加及び開催案内への特段のご協力の程、何卒宜しくお願い申し上げます。

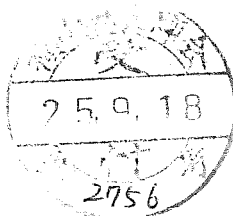
敬具

記

1. がん治療医の先生方への開催案内
(詳細・お申し込みサイト: <http://www.kanwacare.net/sympo/25/>)
※同封リーフレット・ポスターもご活用ください。
※ぜひがん治療医の先生方をお誘い合わせの上、ご来場お待ちしております。
2. 本シンポジウムへのご参加
(お申し込みサイト: <http://www.kanwacare.net/sympo/25/>)
3. 本開催ウェブサイトへのリンク: <http://www.kanwacare.net/sympo/25/>
※リンクをご協力いただける場合、下記事務局宛にメール等でご一報賜りたく、
お願い致します。

ご質問等は下記連絡先宛にお願い申し上げます。

事務局: 特定非営利活動法人 日本緩和医療学会事務局
厚生労働省委託事業 担当係
〒550-0001大阪市西区土佐堀1丁目4-8 日栄ビル603B号室
TEL:06-6479-1031 / FAX:06-6479-1032
E-mail: itaku@jspm.ne.jp



がんと
わかった時から
緩和ケアが始まる。
そんな社会を作るのは
あなたです。

いつでもだれでも
がんと診断された時から緩和ケアを受け
苦痛を緩和しながら積極的に治療に取り組める—
このシンポジウムでは、そのような社会の実現に向け、
医療従事者が「今日から実践できる」
具体的なアクションプランを提案します。

緩和ケア普及啓発シンポジウム
～がんと診断された時からの緩和ケア～

がん治療医が今日からできる
診断時からの緩和ケア

第1部「がんと診断された時からの緩和ケア」正しい理解と実践

第2部 がん治療医が今日からできる診断時からの緩和ケア 5つのアクション

- ・からだところどころのつらさを適切に評価しマネジメントするために
- ・誠実なコミュニケーションと意思決定支援をするために

2013年10月6日(日) 13:00-17:00

会場：聖路加看護大学（東京・築地）アリスC.セントジョンメモリアルホール 1F

定員：300名（申し込み先着順）参加費：無料

主催：特定非営利活動法人 日本緩和医療学会

お申し込み・詳細は <http://www.kanwacare.net/sympo/25/>

※本シンポジウムは医療従事者向けですが、どなたでも参加できます。

問い合わせ先：日本緩和医療学会事務局

TEL:06-6479-1031 E-mail:itaku@jspm.ne.jp

JSPM
日本緩和医療学会

PEACE
Palliative care Emphasis program on
symptom management and Assessment
for Continuous medical Education
緩和ケア継続教育プログラム



シンポジウムプログラム

オープニング

<総合同会>

特定非営利活動法人 日本緩和医療学会 委託事業委員長 加藤 雅志

13:00 ~ 13:10 開会挨拶 特定非営利活動法人 日本緩和医療学会 副理事長 木澤 義之

13:10 ~ 14:50 第1部 基調講演

「がんと診断された時からの緩和ケア」正しい理解と実践 ～がん治療医が行う緩和ケアとは?～

13:10 ~ 13:30 基調講演 1 厚生労働省がん対策推進の立場から 厚生労働省健康局がん対策・健康増進課 課長補佐 山下 公太郎

13:30 ~ 13:50 基調講演 2 緩和ケア普及啓発事業の立場から 特定非営利活動法人 日本緩和医療学会 理事 緩和ケア普及啓発WPG員長 濱 卓至

13:50 ~ 14:10 基調講演 3 緩和ケア医(内科医)の立場から 帝京大学医学部 緩和医療学講座 教授 有賀 悦子

14:10 ~ 14:30 基調講演 4 精神腫瘍医の立場から 国立がん研究センター東病院 臨床開発センター 精神腫瘍学開発分野
精神腫瘍科科长 小川 朝生

14:30 ~ 14:50 基調講演 5 看護師の立場から 聖路加国際病院 オンコロジーセンター がん看護専門看護師 高橋 美賀子

14:50 ~ 15:20 休憩

15:20 ~ 16:50 第2部 パネルディスカッション

テーマ がん治療医が今日からできる診断時からの緩和ケア 5つのアクション

●からだところのつらさを適切に評価しマネジメントするために ●誠実なコミュニケーションと意思決定支援をするために
<コーディネーター>

神戸大学大学院医学研究科 内科系講座 先端緩和医療学分野 特命教授 木澤 義之

国立がん研究センター がん対策情報センター がん医療支援研究部長 加藤 雅志

<パネリスト>

がん治療医 (予定)

緩和ケア医(内科医) 帝京大学医学部 緩和医療学講座 教授 有賀 悦子

精神腫瘍医 国立がん研究センター東病院 臨床開発センター 精神腫瘍学開発分野 精神腫瘍科科长 小川 朝生

看護師 聖路加国際病院 オンコロジーセンター がん看護専門看護師 高橋 美賀子

クロージング

16:50 ~ 17:00 閉会挨拶 特定非営利活動法人 日本緩和医療学会 副理事長 木澤 義之

※プログラム及び講演者は予定であり、最新のプログラムはWeb サイトをご覧ください。

参加申込書

緩和ケア普及啓発シンポジウム がん治療医が今日からできる診断時からの緩和ケア

フリガナ:

氏 名:

所属施設:

所属部署:

施設に所属していない方は、「個人」とご記入ください。

〒

住所:

TEL:

FAX:

メールアドレス:

今回はどのような立場で参加されますか。(下記より選択)

- ☐医師 ☐薬剤師 ☐看護師 ☐MSW ☐その他のコメディカル ☐患者・家族 ☐行政関係者
☐メディア関係者 ☐その他 ()

お申込みは、本紙を FAX: 06-6479-1032 へお送りください
最新情報は Web サイトへ <http://www.kanwacare.net/sympo/25/>

問い合わせ先: 特定非営利活動法人 日本緩和医療学会事務局 TEL: 06-6479-1031 Email: itaku@jspm.ne.jp